a journal

NAGOYAKINEMA NEU

ナゴヤキネマ・ノイ

6月号 2026

〒464-0850
名古屋市千種区今池 1-6-13
今池スタービル 2F

Tel.052-734-7467
https://nk-neu.com

6 月の定休日
火曜日(定休日)
6/2・9・16・23・30

毎月発行

RESERVATION

■各作品の 10 日前から上映 1 時間前までは公式サイトからプリペイドで席のご予約ができます。

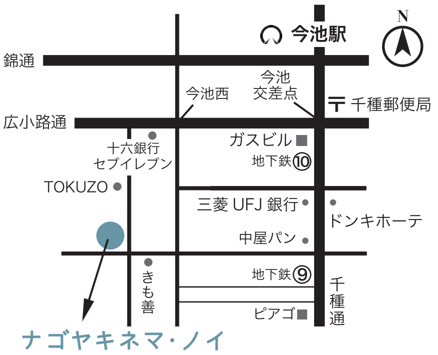
■現金でのご購入、特別鑑賞券、ご招待券をご使用の方は、10 日前から当日までの窓口受付 (座席指定) をご利用ください。

PLATFORM

公式サイト / 公式 Facebook / 公式 X @nkn_2024 / 公式 Instagram @nkn_2024

上映スケジュール表は 2 面をご覧ください

ACCESS



▶ 地下鉄今池駅⑨・⑩番出口より徒歩 3 分
▶ 今池スタービル 2 F(契約駐車場なし)

5.16(土)～6.5(金)
忘れ去られたヌーヴェルヴァーグの名匠 **ギィ・ジル**

《2 作品 / 入替》

①海辺の恋 (1964年 73分 初公開)
②オー・パン・クペ (1967年 71分 初公開)

5.23(土)～6.12(金)
ル・コルビュジエとドーシ インドのモダニズム

《2 作品 / 入替》

●トーク : 5 月 24 日 (日)①上映後。
夏目欣昇さん(名古屋工業大学工学部社会工学科准教授)

①ユートピアの力 (カリン・ブッパー他 2023年85分)
②誓い 建築家 B・V・ドーシ (ヤン・シュミット=ガレ 2023年 90分)

5.23(土)～6.5(金)
『パリから来た殺し屋』4K

監督 : ジャック・ドレー (1972 年 112 分)

5.30(土)～6.12(金)
アンコール **『蒸発 JŌHATSU』**

監督 : アンドレアス・ハートマン、森あらた (2024 年 86 分)

6.6 (土)～19(金)
アンコール **『どうすればよかったか？』**

監督 : 藤野知明 (2024 年 101 分)

6.6 (土)～19(金) EU フィルムデーズ 2026

★以外は、日本初公開。《26 作品 / 日替》

①サナトリウム (2025年 90分アイルランド)
②消えない光 (2025年108分フィンランド★)
③Fuck the Polis (2025年 74分ポルトガル)
④この子は誰 (2025年107分オーストリア)
⑤スマラグダ (2024年 99分キプロス)
⑥ジムの物語 (2024年101分フランス★)
⑦あなたを偲ぶ旅 (2024年 82分ルクセンブルク)
⑧マーダレス (2023年 95分ギリシャ)
⑨大丈夫と約束して (2024年 93分スロヴァキア、チェコ★)
⑩心をつないで 思いを紡いで (2025年 94分オランダ)
⑪47系統 (2024年110分スペイン)
⑫マリアの沈黙 (2024年104分ラトビア)
⑬罠 ドナウ川の守り人 (2024年 95分ブルガリア)
⑭不屈の女たち -旧東ドイツ編 (2024年104分ドイツ)
⑮世界の果てまで3キロ (2024年105分ルーマニア)
⑯ドリームオン/ドリームオフ (2025年 64分クロアチア)
⑰ファミリー・セラピー (2024年122分スロヴェニア)
⑱シムシャー (2014年101分マルタ)
⑲夏の終わりの訪問者 (2025年111分リトアニア)
⑳エストニアの聖なるカンフーマスター (2023年115分エストニア他★)
㉑ライオンにいてほしい (2024年 68分ハンガリー★)
㉒ショパン、ショパン！ (2025年133分ポーランド★)
㉓芸術家、ただ今迷走中 (2024年110分ベルギー、フランス)
㉔ハマーショルド 平和への闘志 (2023年114分スウェーデン)
㉕墓泥棒と失われた女神 (2023年131分イタリア他★)
㉖夜に現れた女 (2023年 85分チェコ)

6.13(土)～26(金)
『悲しくて美しい世界 This is Sparklehorse』

監督 : アレックス・クロートン、ボビー・ダス (2022 年 92 分)

6.13(土)～26(金)
『三角屋の交差点で』

監督 : 山田徹 (2025 年 95 分)
●舞台挨拶 :6 月 14 日 (日) 山田監督

6.20(土)～
『日泰食堂』

監督 : 洗澔楊 (2024 年 83 分)

6.20(土)～
『遊歩 ノーボーダー』

監督 : 淺野由美子 (2026 年 82 分)
●舞台挨拶 :6 月 20 日 (土)
淺野監督、藤野知明プロデューサー

6.20(土)～26(金)
『焼け石と雨粒』

監督 : 櫛田有耶 (2022 年 75 分)
●舞台挨拶 :6 月 21 日 (日)
櫛田監督、佐野弘樹さん (主演)

6.27(土)～ 7.3(金)
没後 40 年 アンドレイ・タルコフスキー 超域の映像 2026

《5プロ/入替》

①ローラーとバイオリン (1960年 46分)
　僕の村は戦場だった (1962年 94分)
②アンドレイ・ルブリョフ (1967年182分)
③惑星ソラリス (1972年165分)
④鏡 (1975年110分)
⑤ストーカー (1979年163分)

6.27(土)～ 7.3(金)
『PLAYLIST アジアの才能』

(※2024 年制作)
●ボクシングの日 (ジョン・シャオイー 13分)
●スズキ (アン・ジョンミン 23分)
●屋上のレンピッカ (グエン・ルオン・ハン 20分)
●黒い犬 (ヤン・リン 20分)
●街に溶ける (小宮山菜子 8分)

上映作品提供 : クレプスキュール フィルム、トレノバ、キングレコード、コピアポア・フィルム、アギィ、東風、駐日欧州連合代表部、在日 EU 大使館・文化機関、イメージフォーラム、ブライトホース・フィルム、インプレオ、太秦、松尾雅人、パンドラ、Stranger、JAIHO

6月上映スケジュール表

※6/2・9・16・23・30（火）は休館です。

5/30(土)～6/5(金)

	5/30(土)	31(日)	6/1(月)	6/3(水)	6/4(木)	6/5(金)
11:00	ギィ・ジル ①海辺の恋					
12:30	ギィ・ジル ②オー・パン・クペ					
14:00	『パリから来た殺し屋』4K					
16:10	ル・コルビュジエとドーシ インドのモダニズム ①ユートピアの力					
17:50	ル・コルビュジエとドーシ インドのモダニズム ②誓い 建築家B・V・ドーシ					
19:40	『蒸発 JŌHATSU』					

6/6(土)～12(金)

	6/6(土)	7(日)	8(月)	10(水)	11(木)	12(金)
11:00	『どうすればよかったか？』					
13:00	①ユートピアの力	②誓い 建築家	①ユートピアの力	②誓い 建築家	①ユートピアの力	②誓い 建築家
14:45	『蒸発 JŌHATSU』					
16:30	①サナトリウム	④この子は誰	⑥ジムの物語	⑧マーダレス	⑩心をつないで想いを	⑫マリアの沈黙
18時台	18:20②消えない光	18:40⑤スマラグダ	18:30⑦あなたを偲ぶ	18:30⑨大丈夫と約束	18:30⑪47系統	18:30⑬罠 ドナウ川
20:20	③Fuck the Polis					

6/13(土)～19(金)

	6/13(土)	14(日)	15(月)	17(水)	18(木)	19(金)
10:30	『どうすればよかったか？』					
12:30	『悲しくて美しい世界 This is Sparklehorse』					
14:15	『三角屋の交差点で』					
16:30	⑭不屈の女たち 旧東ドイツ	⑰ファミリー・セラピー	⑲夏の終わりの訪問者	㉑ライオンにいてほしい	㉓芸術家、ただ今迷走中	㉕墓泥棒と失われた女神
18・19時台	18:30⑮世界の果てまで	18:50⑱シムシャー	18:40⑳エストニアの聖なる	18:00㉒ショパン、ショパン!	18:40㉔ハマーショルド	19:00㉖夜に現れた女
20:30	⑯ドリームオン / ドリームオフ					

6/20(土)～26(金)

	6/20(土)	21(日)	22(月)	24(水)	25(木)	26(金)
11:00	『日泰食堂』					
12:40	『遊歩 ノーボーダー』					
14:50	『三角屋の交差点で』					
16:45	『焼け石と雨粒』					
18:40	『悲しくて美しい世界 This is Sparklehorse』					

6/27(土)～7/3(金)

	6/27(土)	28(日)	29(月)	7/1(水)	2(木)	3(金)
11:00	『遊歩 ノーボーダー』					
12:40	『日泰食堂』					
14:20	③惑星ソラリス	⑤ストーカー	②アンドレイ・ルブリョフ	④鏡	①ローラーとバイオリン他	④鏡
16・17時台	17:20④鏡	17:15①ローラーと	17:40④鏡	16:30③惑星ソラリス	16:50⑤ストーカー	16:30②アンドレイ
19:50	『PLAYLIST アジアの才能』					

ご入場料金・入替制

一般 1800円　大学生・会員 1400円　高校生以下 1000円　シニア(60歳以上)1300円
障がい者・会員(シニア・学生)1100円　ペア割(2名)2800円

○会員サービスディ：木曜日　会員・障がい者 1000円・会員1名とのペア(2名)2000円
○ファーストディ　一般 1200円　会員・障がい者 1000円

〈EU フィルムデーズ 2026〉
一般 1500円　シニア・大学生・会員・ペア 1300円　シニア＆学生会員・障がい者 1100円　高校生以下 1000円

会員募集

お申込日から1年有効で 2000円。
会員特典は当日ご料金の割引きのみになります。
受付は劇場窓口にてお願いいたします。

ギィ・ジル
忘れ去られたヌーヴェルヴァーグの名匠

２作品 / 入替

アルジェリアから1960年にパリに移住したギィ・ジル。短編映画を称賛したジャン＝ピエール・メルヴィルの支援で20歳にして初長編『海辺の恋』に着手。その後の作品発表も高く評価はされず、今回が日本劇場初公開となる。**『海辺の恋』**アルジェリアの戦地からの休暇で再会する ダニエルとジュヌヴィエーヴ。束の間の再会も儚く、時間と距離がふたりの人生を残酷に引き裂く。J＝P・レオ、J＝C・ブリアリ、A・ドロン、J・グレコらが彩る、美しく繊細な愛の物語。(73分)**『オー・パン・クペ』**純粋無垢であるがゆえに居場所を見つけられずに世を去ったジャンを思い続けるジャンヌ。ふたりの思い出のカフェの名をタイトルに冠した愛の記憶と不在を痛切に切り取る映像詩編。(68分)

ル・コルビュジエとドーシ インドのモダニズム

２作品 / 入替

西洋モダニズムをインドに融合し、実現した奇跡を２つのドキュメンタリーで紐解く企画。80年前、初代首相ネルーが独立後の新生インド北部に計画都市チャンディガールを構想し、建設をル・コルビュジエ (1887 ～ 1965) に託した。建築家が目指したのは自然と近代技術が調和する人間中心のユートピア。現在にも継がれている実験都市の「こころ」を人間性豊かな視点で探索する**『ユートピアの力』**(85分)。**『誓い 建築家B・V・ドーシ』**(90分)は、2018年にプリツカー賞に輝き 2023年に逝去した建築家バルクリシュナ・ドーシを取材。ル・コルビュジエやルイス・カーンらと協労した壮大な建築物、自身が手掛け今も残る様々な作品を再訪。インドの風土、精神性に触れる貴重な作品。

『パリから来た殺し屋』4K

フランスからやってきてロサンゼルスで手際よく「仕事」を終えたルシアン（ジャン＝ルイ・トランティニャン）だが、思いがけず罠にハマり、冷徹な殺し屋（ロイ・シャイダー）に狙われる羽目に。外国人の目を通して見たアメリカの巨大都市はまるで迷路のようにルシアンを追い詰める。クールなふたりの好演と、ジャン＝クロード・カリエールの脚本、ミシェル・ルグランの音楽という豪華すぎる協力を得て、『ボルサリーノ』などのアクション映画の職人監督ジャック・ドレーが冴えを見せる。日本初公開。（112分）

『蒸発 JŌHATSU』 アンコール上映

人間関係のトラブル、借金、ヤクザからの脅迫など、様々な理由で日本では毎年約８万人が失踪している。「蒸発」である。「夜逃げ屋」の手を借りて見知らぬ土地でリスタートする人も少なくない。本作は、現代日本の闇に切り込み、蒸発の実像、夜逃げ屋の仕事、そして失踪後の生活を捉えるドキュメンタリー映画だ。プライバシーの問題で素顔を明かせないのが当然な題材に、いわゆる「ボカシ」だけでなく、AI 技術で一部の顔や声に加工していることも、表現のあり方として一石を投じていると言える。(86 分)

『どうすればよかったか？』 アンコール上映

共に研究者で医師の両親とふたりの姉弟。医学部進学した姉がある日突然、支離滅裂に叫びだし統合失調症を疑われるも、弟 (監督 : 藤野知明) の意思に反して両親は精神科の受診を遠ざけた・・・一昨年末からヒットを続ける圧巻のドキュメンタリー映画 (101 分)。プロデューサー淺野由美子の初監督作『遊歩 ノーボーダー』(藤野は撮影・編集ほか担当) の公開記念となるアンコール上映。

EU フィルムデーズ 2026 26 作品 / 日替

EU 加盟国の在日大使館と文化機関が選りすぐった、主に日本初公開映画作品を中心に東京・名古屋・広島・京都を巡回予定の EU フィルムデーズを今年も開催いたします。劇映画は史劇、SF、スリラー、実話、音楽、ヒューマンドラマ、マーシャル・アーツにファンタジーと多様な文化に触れ、戦争と分断の社会に光をともすドキュメンタリーも併せて一挙公開いたします。

『悲しくて美しい世界 / This is Sparklehorse』

中心人物であったマーク・リンカスが自死するまで、90 年代のごくわずかな期間アメリカのインディーズシーンを駆け抜け、6 枚のアルバムを残したバンド、スパークルホース。レディオヘッドや R.E.M. のオープニングアクトを務め、その繊細で激しいサウンドは日本でも、知る人ぞ知るバンドとしてファンを魅了した。日本では数少ないレコードが今も高額で取引され続けている。生前のマーク・リンカス本人へのインタビューと、親交のあったミュージシャンや彼の孤独に共鳴した映画監督デヴィッド・リンチらの証言によって、その世界に迫るドキュメンタリー。(92 分)

『三角屋の交差点で』

東日本震災から既に 15 年の歳月が流れた。本作は、福島県浪江町の「三角屋の交差点」で始まる。東京電力福島第一原発事故の避難区域のために、自宅を離れ復興公営住宅での生活を余儀なくされた、とある家族が自宅の様子を見にきた時間にカメラが同行しているのだ。初老の夫婦と、やや記憶が曖昧になりつつある老母の３人家族。故郷への想いと今後の生活との間で苦渋の選択を迫られる姿から滲み出る不安を、カメラが揺らぎながら見つめる様子も見てとれる。山田徹監督が『新地町の漁師たち』に続き被災地を見つめる。(95 分)

『遊歩 ノーボーダー』

1956 年福島生まれの遊歩 (ゆうほ) さんは、幼い頃から学びを諦めさせられ、障がいや性別による差別や排除を突きつけてくる社会に憤りを抱えてきた。自身の居場所を探すなか、「福島青い芝の会」、米国留学では自立生活運動とフェミニズム出会う。優生保護法との闘い、妊娠、出産を経て今も車椅子でぐんぐん進んでいく遊歩さんに魅了される傑作ドキュメンタリー映画。監督は『どうすればよかったか？』の淺野由美子プロデューサー。(82 分)

『日泰食堂』

香港から船で 30 分ほどの小さな島、長州。港に多くの船が浮かぶ漁村に、一軒の食堂がある。日泰食堂。古くから島の人が憩い、ビールを飲みつつ麻雀やトランプを楽しんだり、談笑したり。そしてまた、人々の情報ステーションでもある場所。のどかな島にも、近年の香港の動乱の映像はテレビから届き、現実も大きな波から無縁とは言えない。

長州出身の新進映画監督フランキー・シンが、故郷への愛着をこめて、過去と未来を見据えて初めてのドキュメンタリー映画を仕上げた。(83 分)

『焼け石と雨粒』

フリーターの氏田晶 (佐野弘樹) は近所のスーパーの店員に好意を持つが、距離感がうまく測れずにストーカー紛いの行動に出てしまう。友人のように振る舞う母親との関係、相談相手だったはずの同級生で美大に通う沙月 (比嘉碧) との微温な関係が、いつしか彼を精神的に追い詰めていく。

櫛田有耶監督が自身の失恋体験をもとに映画化し、たまたまイベント上映に立ち会った平野勝之監督が激賞したことで劇場公開が決まった異色作。『SUPER HAPPY FOREVER』での存在感が印象的な佐野弘樹が、狂気をはらんだ不器用な“クズ男”を演じる。(75 分)

没後 40 年アンドレイ・タルコフスキー 超域の映像 2026 5 プロ / 入替

ソ連が生んだ不世出の芸術家、アンドレイ・タルコフスキー。晩年はイタリアに亡命し、それでも故郷を偲ぶ傑作を残して客死したが、彼のソ連時代の監督作を大特集。陽の光や風さえも意のままにするかのような魔術的な演出は、他の追随を許さない。その卓越した映像美が SF ジャンルの枠を大きく飛び越えて結実した『惑星ソラリス』(165 分) や『ストーカー』(163 分)、詩人であった父親を投影した自伝的な映像詩『鏡』(110 分)、15 世紀のイコン画家を中心に壮大な歴史劇『アンドレイ・ルブリョフ』(182 分)、そして初期のリリカルなセンスが煌めく『ローラーとバイオリン』(46 分)『僕の村は戦場だった』(94 分)。

『PLAYLIST アジアの才能』

前回、前々回の大阪アジアン映画祭出品の短編から、次世代を担う才気あふれる作品をセレクション。ブラー、オアシスなど洋楽好きな郊外の中学生がチャットで知り合った「スズキ」と会いにソウルへ行く傑作『スズキ』など。(計 84 分)

next arts 通信

福井県年縞博物館

「年縞（ねんこう）」って知っていますか？『広辞苑』に載ったのは、その名を冠した博物館が福井県若狭町に開館した 2018 年という、まだ新しい言葉。そしてこの福井県年縞博物館は、世界的な発見と研究拠点であることに驚いた。

年縞とは「長い年月の間に湖沼などに堆積した層が描く特徴的な縞模様の湖底堆積物」のこと。若狭湾岸にある三方五湖のひとつ、水月湖の湖底からは奇跡的に約７万年前からの地層が採掘されたのだ。博物館２階のハイライトは、スライスされた「年縞」のシマシマ模様の壁面展示であり、7 万年分の地層は横に 45 メートルにもなっている。

展示室では解説員の方が、特徴的な箇所を説明してくださり、さらに「年縞」研究の歴史と展望に関わる資料展示も豊富だ。なにしろ水月湖の年縞が世界で注目される所以は、1 年の欠けもないことで、考古学や地質学における高精度の「世界標準のものさし」なのだから。

壮大で気の遠くなるような研究が継続されている現場ではあるが、まさに湖を見渡せる立地は行楽気分を誘うし、内藤廣さん設計による建築物も伸びやかで気持ちいい。新たな博物館の醍醐味を堪能できた。

【トトち】

ナニやってんだか！(14)

メチャびっくり！させる中電だけど、これはびっくりがヒド過ぎる！浜岡原発は南海トラフ巨大地震の想定震源域に建っているので世界一危険な原発。その原発の、耐震基準のデータを中電は改ざんとねつ造をしていました。2025 年２月に規制庁に公益通報があって、不正がバレたんですが、報道されたのは 2026 年の１月で、約 1 年間もほったらかし？何かヘン！でも、まあ、中電は社内を調査した結果を、とりあえずとして３月３１日に報告書として公表しました。データ改ざんをやりはじめたのは遅くとも 2012 年からとあり、あの東電福島原発事故のたった１年後だった。だって、あの事故から 15 年経っているのに未だ「原子力緊急事態宣言」が出されたまま。約３万人の人たちはまだ避難民で帰れない。東日本壊滅か！の、あの衝撃を中電は受け止めていなかったのです。さらに、耐震基準地震動の計算を委託した下請け業者に、中電は指定した大きさにするように、あらかじめ指示をして、下請け業者も従っていました。こんなことをしたのに、実行犯の下請け業者名や誰が指示をしたのか、誰が黙認したのかは何も書いてない！実行犯についでは、たぶん他の原発の耐震基準の計算もしているから水平展開をすると大問題になるから止めたんでしょうね。でもね、これじゃあ、誰も責任を取らせないから再発防止にならない。やっぱり浜岡原発は世界一危険な原発で動かしてはいけない。

(しょう) 26.06

あいまい、まいにち、こんにちは

今日はちょうど移動中にゲリラ豪雨にあった。移動中はあれほど激しく降っていた雨が、目的地に着くとほぼ止んでいる。つくづく運が悪い。

雨が降ると、維新派の作品を観に行ったとき、屋台のお兄さんが言った言葉をふと思い出すことがある。維新派は、今は解散してしまったが、巨大な野外劇場をつくり公演をする劇団だ。会場には屋台村と呼ばれる飲食店などが立ち並び、観劇前に屋台でご飯を食べるのも楽しい時間だった。私が観に行った日はちょうど雨だった。濡れてテンション低めで、屋台でご飯を食べている私に、お店のお兄さんは、やけにテンション高く「維新派は、雨の日が一番面白いんだよ！」と野外劇の魅力を話してくれた。

結局その日は、私の装備が甘かったこともあり、本番は雨と寒さに震えながら観劇することになったのだが（本番は夜にやるので想像以上に冷え込む)。

あれから十数年がたち、さまざまな野外劇を観に行き、あのときのお兄さんが言っている意味が、よくわかるようになった。なぜか雨の日はテンションが上がる。なぜかは良くわからないけど、楽しい。装備も、今ではカッパ、防寒具、日焼け対策、虫よけなど、抜かりがなくなった。

最近は野外劇に行く機会が減ってきてしまったので、この夏は何年かぶりに富山県利賀村で開催される「SCOT サマー・シーズン」に行きたいと思っている。これを書いている時点ではまだラインナップは発表されていない。どんな演目が上演されるのか今から楽しみだ。

(i)

ウニタ書店情報（052-731-1380）

先の衆院選で大勝し、絶対多数を確保した高市政権が、「国論を二分する政策」に手をつけ始めている。武器輸出制限の撤廃、国家情報局の設置、安全保障政策の転換、非核三原則の見直しなどを、推し進めようとしているのだ。更には憲法改正にも意欲を示し、これまで抑えてきた右派色を鮮明にしつつある。とは言え、支持率は依然として高いままで、それは日本社会の右傾化の反映だと言われている。２月刊行の「**右派市民と日本政治**」(松谷満・著、朝日新書) は、右派の思想・団体についての本は出ていても、それに共鳴する市民の実像はよくわかっていないという問題意識から、一万人以上の郵送によるアンケート調査で得られたデータ分析を通して、「右派市民」の意識を明らかにしている。右派思想を愛国・伝統・排外・反左派主義の４つのタイプに類型化し、どれに強いこだわりを持っているかを分析すると、意外にも４つのタイプ全てを満たしている<ゴリゴリの右派>は、ほんの一握りであり、多くは、いずれかのタイプのみの<ゆるい右派>だった。それ故、状況の変化によって右派色を強めたり弱めたりする傾向があり、そんなに強固な支持層ではない、としている。こうした右派市民をいたずらに敵視し遠ざけることをせず、「一緒にいることをあきらめない」とする著者の言葉には、分断の固定化を避けようとする姿勢が現れている。

いなかのじけん

その後の竹の花

淡竹 (ハチク) に続いて孟宗竹 (モウソウチク) にも花が咲き始め、今年のタケノコは駄目かもね、と思っていたが、何の何のあにはからんや、全部に花は咲かない、そうしてそれは枯れない。雨後のタケノコたぁ、よく言ったもんだ、ポコポコ出て来よる。それとも時間差で咲くのだろうか。

気づくとあちこちの竹林が全滅している。O 幡町でも花が咲いたそうな、電車に乗っても枯れた竹林を見かけるようになった。分からない事だらけの竹の花だが、分かった事は、何十年かに一度 (この年数は分からない) 花が咲くと、竹の種類は問わずに、風邪がうつるがごとく近隣の竹林でも花が咲き、あるものは一度に枯れ、あるものはそうでもない。花が咲けば実のつくのが世の習いだけれども、実入りのものはまだ見たことがない。言い伝えによれば、昔は竹の実は救荒作物として保存され、食べた人によると、よっぽど腹が減ってなきゃ食えたもんじゃない、そうだけれども、米だって常温で長期保存したら不味くなるので、新鮮な竹の実の味は不明、としておきたい。

さて、ここで疑問が湧き上る。タケは種類を問わず次々と花が咲いて行く様だが、この度、メダケ林にも全滅した所が見うけられる。実はメダケはタケのようだがササに分類される。タケ君やササちゃんは自分らの事が分かっているのだろうか。家の庭にはびこっているクマザサにも花が咲くのだろうか。どこかで一線を引いて超えないものなのだろうか。目が離せない。

ナゴヤキネマ・ノイ 協力店

NAGOYA KINEMA NEU

みその皮膚科医院
Misono Dermatology Clinic
［ 院内処方 / 保険診療 ］
診療時間
午前 10 時～13 時・午後 15 時～20 時
毎週土曜・日曜・祝日休診
地下鉄伏見駅10番出口より徒歩2分
052-232-2214
http://www.misonohifu.com/

BAR パプリカ
（円頓寺 Les piliers 併設）
演劇、映画、アート、音楽をつまみに
名古屋市西区那古野一丁目18-2
090-1620-4591（加藤）
国際センター駅②出口から徒歩5分
丸の内駅⑧出口から徒歩8分
不定休
詳細はツイッター@perkypat1962

GOOD BOOZE CHEAP FOODS & HIP MUSIC

Tokuzo は朝までやってる呑み屋である。
http://tokuzo.com
052-733-3709
年中無休 pm6:00～am5:00
キネマ・ノイより北、広小路通へ抜ける手前の青いビル 2F

open house
Analog Recordと Restaurant Bar
052-753-4300
年中無休 pm6:00～am1:00
キネマ・ノイより東、環状線に抜けた角、中屋パン地下 1F

JAZZ MATILDA
DRINK & FOOD
丸栄 / 入江町通 / プリンセス大通 / かに本家 / 三蔵通 / JAZZ MATILDA（グランドビル5F） / プリンセスガーデンホテル / 白川通
●気軽に入れる小さなお店です
●お一人様大歓迎。 ●日・月曜定休 ●席料¥500
●オーダー~¥300~ ●営業時間19:00~24:00
名古屋市中区栄三丁目9番22号グランドビル5F
☎052-263-6272

パンクをしたら DAISY
052-228-0977
急ぎの荷物も当日お届け！
自転車便・自転車出張修理
デイジーメッセンジャー
名古屋市中区新栄 2-2-19

Hair Salon VARIETE
WEB: http://variete.hp4u.jp
ヘアサロン バリエテ
営業時間
平日11:00~21:00 土日祝10:00~19:00
定 休 日
月曜・第3月火曜連休
千種区池下1-6-20 ☎751-7774
（チサンマンション池下203号）1Fに「ドゥリエール」のあるビル

bookshop & gallery ON READING
www.onreading.jp
on_reading
地下鉄東山公園駅２番出口より徒歩１分
感じる、考えるひとのための本屋

おかげさまで19周年
女性専門
からだほぐし＆足つぼ
みずたま
10:00-20:00
火曜・第1/3水曜休
本山駅６番出口すぐ
052-781-8239

SHIMAUMA BOOKS
シマウマ書房
ナゴヤキネマ・ノイから東へ徒歩５分。古本屋です。
名古屋市千種区今池 5-14-3
11:00－18:00
定休日 火水
www.shimauma-books.com

アンティーク・リサイクル着物&カフェ
らんまる 蘭丸 でノンビリキモノ

ウール400円～、正絹小紋2500円～
名古屋帯2500円～、半幅帯300円～
小物やオリジナル商品もございます。
キネマ・ノイより、南へ徒歩2分
052-735-6053
p.m.1:00~7:00 / 火曜・水曜定休
名古屋市千種区今池3-2-9ママビルディング1階

骨董・古書・美術品 これび

鑑定・買取
昭和区桜山
☎052-853-1961

静寂の珈琲店
読書珈琲 リチル

地下鉄今池駅徒歩1分

まずは、お試し野菜セットから
お申込みはホームページ / お電話で
tel 052-851-7200
くらしを耕す会 検索

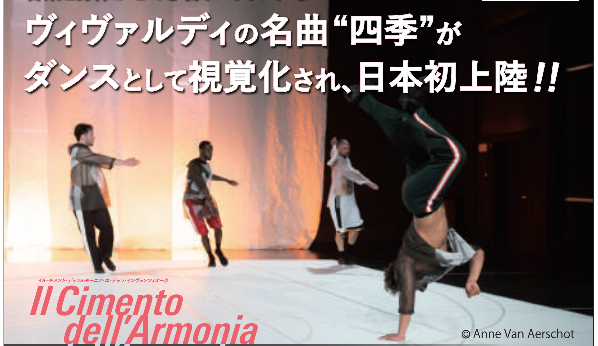
天然酵母パンとお野菜中心のお昼ごはん
鞠奴パン食堂
mariyakko
●営業日／木・金曜日 am11時半～pm4時
緑区鳴海町鉾の木31-2 ℡080(4301)3102
鍼灸「ハリのむしろ」も併設

中国伝統鍼灸・冷えとり健康法
帰来堂 鍼灸療院
地下鉄池下駅1番出口すぐ
9:30-18:30（最終受付） 不定休
052-752-7817（予約制）kiraido.com
千種区池下1-11-7 MEビル202

おもしろ 楽し 三味線教室
無料体験しませんか
きよもと みやひろ
清元美哉廣
090-6369-7795
otanesan9@gmail.com
桜山駅近く

星屑珈琲
群れない魂の止まり木
静かな夜型喫茶

ナゴヤキネマ・ノイから168歩
本と酒
ANZAI COVERDOCK
安西コーブンドー
19時～27時
不定休

音楽と身体がせめぎ合うスリリングなパフォーマンス
Rosas
ヴィヴァルディの名曲“四季”がダンスとして視覚化され、日本初上陸!!


Il Cimento dell'Armonia e dell'Inventione 和声と創意の試み
Anne Teresa De Keersmaeker, Radouan Mriziga / Rosas, A7LA5
2026.6.24.wed.18:30
アマノ芸術創造センター名古屋（名古屋市芸術創造センター）
全席指定 S席 8,000円／S席U25 4,000円／A席 6,000円／A席U25 3,000円
お問合せ 愛知県芸術劇場 052-211-7552 Email: contact@aaf.or.jp

印刷のことなら何でもご相談ください。
もくもく
http://mokumoku.asia
名古屋市瑞穂区 tel 052-852-7611

名古屋シネマテークの支配人平野勇治の遺稿集
平野勇治 著
安住恭子 発行
小さな映画館から
1650円（税込）
ウニタ書店・ナゴヤキネマ・ノイで販売中

たまさかの古本屋
シマウマ書房の日々

鈴木 創 著
2200円（税込）
亜紀書房／発行
12月9日発売 各書店にて

Free Palestine!

私たちにできること